

令和5年度 第1回瑞浪市化石博物館協議会 会議録

日 時：令和5年6月20日（火）13時～14時

会 場：瑞浪市化石博物館 別館研修室

出席者 <協議会委員> 松岡 敬二（学識経験を有するもの）（会長）
西尾 京子（家庭教育の向上に資するを有するもの）
中山 京三（社会教育関係者）
加納 礼爾（学校教育関係者）
<事務局> 水野 義康（館長）・安藤 佑介・河野和弘
欠席者 <協議会委員> 大路 樹生（学識経験を有するもの）

1 委嘱状交付

教育長代理として、館長より加納委員に委嘱状を交付。

2 あいさつ

館長より開会の挨拶がなされた（内容は省略）。

松岡会長より挨拶がなされた（内容は省略）。

3 報告事項

令和4年度事業報告について

1) 普及活動の充実

・④学校等教育機関との連携

委 員：学校との連携が進んでいるのは良いが、アンケートを取る、感想文を書いてもらうなど活動が残るようにしてほしい。

事務局：アンケートや手紙をいただいている。今後は記録としてまとめたい。

委 員：パレオパラドキシアは発掘後、釜戸小学校の児童に見せていただき、大変学習効果があった。今後も関連した講座などを企画していただきたい。

事務局：昨年度制作した産状レプリカは出前授業に積極的に活用していく予定である。

委 員：今後は市内だけでなく、市外の学校と連携を進めてはどうか。

事務局：まだ市内全ての学校と出前講座や博物館での授業ができているわけではない。まずは市内の学校と連携を推進したい。

2) 資料の充実と調査・研究

・①パレオパラドキシアの緊急発掘と調査

委 員：パレオパラドキシアに関連した事業は何を実施したのか。

事務局：令和4年度は発掘を行い、クリーニングを進めた。また、産状レプリカを制作した。

委員：クラウドファンディングの寄附金は令和4年度事業に使わなかったのか。

事務局：寄附金は令和5年度の事業から活用していく計画としている。具体的には、クリーニング、調査報告書の刊行、復元画や模型の制作などに充てていく。

4 協議事項

令和5年度事業について

1) 普及活動の充実

・②講座等の開催

委員：話題となっているパレオパラドキシアが発掘されたため、これを素材として講座を企画してみてもどうか。

事務局：夏に開催している「恐竜の模型を作ろう」の1回分をパレオパラドキシアの復元画講座にできないか講師と相談してみる。

・⑤パレオパラドキシアに関連した海の学び普及事業

委員：普及の冊子について、パレオパラドキシアだけでなく、瑞浪市からはクジラやアシカの化石が発見されている。これらの関連性など、海のは乳類の話も盛り込んだ本を作ってほしい。

事務局：デスモスチルスや土岐市泉町産パレオパラドキシアも小冊子の内容に盛り込む予定である。また、パレオパラドキシアが生きていた時の日本の様子も内容に盛り込み、他の地域の方にも興味を持って読んでいただけるような本にしたい。

委員：パレオパラドキシアで子どもたちの古生物学に対する興味も増加しているため、継続的な活動をしてほしい。

事務局：産状レプリカや今年度制作する本などは今後の継続的な活動を見越して制作する。来年度以降も活用していく予定である。

4) 国民文化祭

委員：補助は受けられるのか。

事務局：事業費の50%を岐阜県より受ける予定である。

5) その他

・①文化施設再編

委員：建設場所の選定作業は進んだか。

事務局：担当者レベルで協議をすすめており、災害対策工事に係る費用を算定中である。

委員：パレオパラドキシアのTシャツを作ってはどうか？出前講座や、仕事でも着て市全体で新博物館の機運を高めるのも方法である。

事務局：今後検討していく。市制70周年のロゴにも化石が使われているため、「化石の街みずなみ」を内外に宣伝していきたい。